

謹賀新年

「魅力のあるまち」
を目指して



潮来市長
原 浩道

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より市政に対する温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

多くの市民の皆様の負託を受け、平成31年3月7日より2期目の市政の舵取り役を担わせていただいております。これからも、市民の皆様のご期待に添えるよう誠心誠意、市政運営に取り組んでいきたいと思ひます。

現在、「潮来市第7次総合計

画」に基づき、まちづくりを進めているところです。急速に進む人口減少や少子高齢化は、まちづくりを考えるうえで、避けては通れないものとなっています。地域の産業やコミュニティ、更には、社会保障など、さまざまな分野で新たな課題が発生し、早急な対応が求められております。

このような状況下、行政コストの適正化に努めるとともに、必要な行政サービスを確保しながら、安心・安全なまちづくりに取り組んでまいります。潮来市は、行政規模が小規模であります。市民の方々の声がダイレクトに市政に反映される地域づくりを目標とし、積極的にまちづくりに参加していただく機会と仕組みを構築し、市民一人ひとりが、世代を超えてお互いに支え合

えるまちを目指していきたいと思っております。

今後、東関東自動車道が延伸されることにより、これまで以上に生活圏が広域化していくことが予想されることから、東関東自動車道を軸として、潮来IC周辺の整備に努め、併せて、観光拠点として道の駅いたこの充実を図ります。

また、バスターミナルの拡張を進めるとともに、近隣自治体との交通ネットワークを強化し、広域路線バスの運行など、地域に根差した継続的な公共交通を担保すること、雇用の創出と新たな移住者を迎え入れる政策を展開し、人口減少や



少子高齢化への対策と、市民の利便性の向上を同時に推進していかねればならないものと考えます。

本市は、水郷地域であるため、古くから水辺と共生しながら、人々の暮らしを紡いできました。その大切な地域資源である水郷の原風景を将来に向けて継承していかなければなりません。その一環として、水郷潮来あやめ園と道の駅いたこを結ぶ前川及び延方干拓南幹線水路の利活用を促進し、これらの資源を守りながら水辺の環境整備に努めてまいります。



さて、今年で69回目となる「水郷潮来あやめまつり」におきましては、昭和30年代頃まで水郷地域で行われていた嫁入り風景を再現した「嫁入り舟」に

「人力車」の運行を組み合わせたともに、地域資源である古

民家「水郷旧家磯山邸」や「津軽河岸あと広場」、「石の蔵」

などを再生し、前川を中心とした通年型の観光を目指してまいります。

潮来にお越しいただいたお客様に水郷潮来の風情を堪能していただければと思います。



次に、いよいよ今年は、「東京2020オリンピック・パラリンピック」が開催されます。本市では、ボートやカヌー競技などの水辺を活かしたスポーツの事前キャンプの誘致に向け、台湾、スウェー



デン、ベルギーなどの競技連盟とともに市全体の気運の醸成を図りながら、推進してまいります。

私は、潮来市には潜在的な力があると信じております。「住みたいまち潮来」の実現のため、市民の皆様と同じ目線に立ち、対話と協調による、真に開かれた市政運営をすすめ、安心・安全で魅力あるまちづくりに目指し取り組んでまいります。

ぜひ、魅力と活力にあふれた「住みたいまち潮来」の実現のため、皆様のなご一層のご協力とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとりまして、健康で幸多き年となりますことを心からご祈念申し上げ、ごあいさついたします。

